

指定文化財一覧

● 重要文化財

名称	所在地	指定年月日	鑑賞のポイント	指定
北海道白滝遺跡群出土品	遠軽町白滝 138 番地 1	H23. 6. 27	いずれの石器群にも多数の接合資料があり、剥片剥離技術や、原石の搬入、素材や製品の搬出のあり方を具体的に物語り、世界的にも希有な内容の後期旧石器時代資料である。	国
旧網走監獄	網走市呼人 1 番地	H28. 2. 9	舎房及び中央見張所は、明治期の木造の放射状舎房が完全な形で残る唯一のもので、当時の標準的な獄舎の特徴を備えている。	国
旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）	網走市呼人 3 番地	H28. 2. 9	全国でも珍しい農園を持つ刑務所の建築群で、当初に遡る主要建築物をよく残し、特に舎房は明治中期に遡る獄舎建築として歴史的価値が高い。また構外泊込作業場から段階的処遇制度の先駆的施設への発展過程をよく示しており、行刑史上高い価値が認められる。	国

● 史跡

名称	所在地	指定年月日	鑑賞のポイント	指定
桂ヶ岡砦跡	網走市桂町	S10. 12. 24	台地には大小 2 つの隆起した地帯があり、先住民はそれぞれに立ち談判したという。	国
最寄貝塚	網走市北 1 条東 2 丁目	S11. 12. 16	純海洋性の貝塚で、モヨロ貝塚人として著名である。オホーツク式文化の宝庫。	国
常呂遺跡	北見市常呂町栄浦～岐阜	S49. 3. 12 S62. 8. 21 H2. 4. 27 H14. 9. 20	我が国では他に例をみない竪穴群であり、縄文文化晩期、続縄文文化期、擦文文化期及び擦文文化後期の墓坑の可能性が強く日本の先史文化を解明する貴重なものである。	国
白滝遺跡群	遠軽町白滝	H1. 1. 9 H9. 9. 2	旧石器時代の集落跡であるこの遺跡は黒曜石原産地に立地し、大量に出土する石器及び剥片等は、当時の生活と石器製作の実態を解明する上で重要。	国
チャシコツ岬上遺跡	斜里町ウトロ西	H31. 2. 26	知床半島南西端から海に突き出た標高 55m の岬状を呈する海岸段丘上に、8～9 世紀にわたって 31 棟の竪穴建物や墓、廃棄場等の遺構が密集して営まれた、オホーツク文化終末期を中心とする拠点集落遺跡。	国
斜里朱円周堤墓群	斜里町朱円西 76 番地	S32. 1. 29	竪穴を掘り、その土で周りに堤が築かれている、ストーンサークルの変形で、縄文時代後期の墳墓群。	道
オムサロ台地竪穴群	紋別市渚滑町川向 153 番地、興部町字富丘 396	S39. 10. 3	3 地区に分かれ、総計 208 個の竪穴住居跡があるが、ほとんど完全に残っている。	道
シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町字川西	S42. 3. 17	オホーツク海に面し、海岸段丘床に 665 個の竪穴群がある。	道
朱円竪穴住居跡群	斜里町朱円地先国有林	S42. 6. 22	オホーツク海に面した丘陵の 2 km にわたり約 750 か所を数え竪穴は外観上円形が主体で、円形は 2 個接続するもので本道では他に例がなく同形態の千島との関連など先史文化上貴重なものである。	道
興部豊野竪穴住居跡群	興部町字豊野	S43. 12. 18	遺跡は、A・B の二地区に分れ、オホーツク海に面し竪穴は一辺の長さ 5～10m のもの 40 ヶ所が完全な姿をなしている。形成年代は擦文文化期のものが多数で、縄文文化期も混在している。	道

● 名勝

名称	所在地	指定年月日	鑑賞のポイント	指定
天都山	網走市字天都山 242 番地	S13. 12. 14	知床半島、網走湖、能取湖、濤沸湖、雄阿寒、雌阿寒岳などの壮大な眺望が得られる。	国
ピリカノカ 眺望岩 ※注)	遠軽町	H23. 2. 7 ※追加指定分	市街地中心部にそびえる高さ 78 メートルの安山岩質火山角礫岩よりなる巨大な奇岩である。頂上には駐車場から約 2 分で登れ、遠軽の街並みをパノラマに見渡せる素晴らしい風景を堪能できる。	国
小清水海岸	小清水町字浜小清水	S26. 9. 6	海岸、砂丘、草原、瀧湖、山岳の展望に富み、牧歌的な風景に優れている。	道

※注) 正式名称は「ピリカノカ 九度山(クツヌマリ)、黄金山(ヒンネタイオルシバ)、神威岬(カムイエトツ)、襟裳岬(オノエノルム)、眺望岩(インカシ)、カムイチャシ、絵鞆半島外海岸、十勝幌尻岳(ボロシリ)、オククルミのチャシ及びムイノカ」と称し、北海道全域に広がる名勝として登録されているが、当管内に所在する名勝として紹介するにあたり、「ピリカノカ 眺望岩」と略称して記載する。

● 天然記念物

名称	所在地	指定年月日	鑑賞のポイント	指定
女満別湿性植物群落	大空町女満別	S47. 6. 14	ヤチダモおよびヤチハンソキを主とする落葉広葉樹の自然林。林床には、ミスバショウの広大な群落がある。	国
斜里海岸の草原群落	斜里町美咲地先国有林	S25. 8. 28	斜里町市街から約 2 km 北西の海岸で、6 月から 10 月にかけてエゾスカシユリ、エゾカンゾウなど 50 種を超える草花が咲き競う。	道
佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	湧別町字東テイネ浜	S32. 1. 29	アッケシソウは別名サンゴソウともいい、秋になるとさんご色になる。	道
温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市留辺蘂町字花丘	S32. 1. 29	温泉街から無加川に沿って東へ約 500m の丘陵斜面に 30 万本もの純群落があり、毎年 5 月上旬に開花し、10 日前後に最盛期を迎える。	道
白滝の流紋岩球類	遠軽町上白滝	S39. 10. 3	曹長石を主とした流紋岩が球類状をなして続いている。	道
オシユンコシユン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町オシユンコシユン	S48. 3. 14	新第 3 紀中新世上部の頁岩層が分布し、粗粒玄武岩の岩床や柱状節理と、更にその岩柱に直角に縞状風漣模様を呈し、岩柱の複雑な動きを示す地質学の貴重な資料である。	道

● 有形文化財

名称	所在地	指定年月日	鑑賞のポイント	指定
女満別石刃鍬遺跡出土の遺物	大空町女満別西 3 条 3 丁目 1	S43. 1. 18	女満別町豊里遺跡から出土し、主に旧石器時代のものと同様の石刃が主体をなしている。(石刃等 760 個)	道
幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町西町 1 丁目	H 3. 3. 30	北海道の旧石器時代を解明する上で学術的に貴重な考古資料。(札幌型糸田石刃核等 1,902 点)	道
斜里朱円周堤墓群出土遺物	斜里町本町 49 番地	H25. 3. 29	縄文時代後期末に位置づけられる栗沢式土器やヒスイ製の玉やサメ歯製品の装身具などがある。	道
北海道家庭学校礼拝堂	遠軽町留岡 34 番地	H27. 3. 31	道内に現存する教会堂と比較しても大正期の形態をとどめる希少な建造物で、細部の意匠に工夫を凝らしている。	道

指定文化財一覧

● 登録有形文化財

名称	所在地	指定年月日	鑑賞のポイント	登録
旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町字越川 245 番 8 他	H10. 7. 23	長さ 147 メートル、高さ 20 メートルの 10 連アーチ型のコンクリート橋で、コンクリート鉄道橋としては北海道最大である。	国
順誓寺本堂	津別町字新町 16 番地	H19. 3. 31	昭和 10 年 10 月 17 日に竣工したという記録を有し、津別町市街地の中心部に位置している。	国
旧上藻別駅通所	紋別市上藻別 297 番地 1	H20. 10. 23	大正 15 年に官設の上藻別駅通所として建てられた。木造下見板張の平屋建、柱葺で、入母屋造の本屋に寄せ棟の玄関を有する。	国